

学校名	川辺小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 576名		
(1) テーマ アイガモといっしょにお米を作ろう がんばって手間ひまかける米作り テーマの分類(一オ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ <u>同一学年</u> ・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 5年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 問題解決にあたって、言葉や構想で止まってしまう子どもが、生き生きと実行に踏み出し、実感を伴いながら問題解決していくこと、及び支援のあり方の探究。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 田おこし・畦シートはり 獣よけの田のさく作り 田植え 稲刈り(鎌を使って。はぜかけ) 田の草取り 脱穀(昔の道具も使って) アイガモの入手 籾すり・精米(見学) アイガモの雛の飼育 おはぎ作り・餅つき アイガモの放田 米の販売 アイガモの田からの連れ帰り アイガモの小屋作り 時数(70)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 校内体制 ・主に学年職員による指導 地域人材の活用 ・学校近在の農家の方 ・アイガモ農法の実践者の方(更埴市) 安全面での配慮 ・稲刈り、脱穀時の道具・機械類の取り扱い ・獣毛アレルギー・衛生管理等			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・体験を通して生まれる切実感や問題意識を、道徳・社会・国語・図工などと結びつけて探究できるようにした。 ・米作りの経験のある保護者や農家の方に協力を依頼し、各段階で参加してもらった。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・子どもの生活背景の理解の上に、その場の思考や行動への評価が存在すると思われる。 逆に子どもの生活背景がにじみ出て、生かされるような学習活動を組み立てていくことも評価への道筋をつけることになるのではないか。			
(8) 成果と課題 ・体験から生じる切実感が、次の学習問題やその解決に向かって踏み出す主体性を生む。 ・子どもに活動の場と時間を保証してやることが重要。しかし教師の路線の上に子どもを乗せていないか、見返していくことも忘れてはならない。 ・一つの学習活動から一人ひとりが自分の課題や活動を見つけ、それを深めさせるための支援はどうあったらよいか。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(一ア 国際理解 一イ 情報 一ウ 環境
一エ 福祉・健康 一オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題